

## 福祉サービス第三評価結果表

### ① 第三者評価機関名

株式会社福祉工房

### ② 施設・事業所情報

名称：ニチイキッズ山形まえた保育園		種別：保育所
代表者氏名： 遠藤 美香		定員(利用人数)： 90 名
所在地：山形県山形市前田町17-24		
TEL：023-615-1612		ホームページ：hst7e5@nichigakkan.co.jp
<b>【施設・事業所の概要】</b>		
開設年月日 平成26年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）： 株式会社ニチイ学館		
職員数	常勤職員： 15名	非常勤職員： 14名
専門職員	(専門職の名称)	
	常勤保育士 11名	非常勤保育士 9名
	看護師 1名	事務員 2名
	栄養士 2名	調理師 1名
	調理師 1名	調理補助 1名
		用務員 1名
施設・設備 の概要	(居室数) 16	(設備等) 冷暖房・床暖房・空気清浄器
		クッション性のある床材使用

### ③ 理念・基本方針

<p>[保育理念] おもいきり遊ぶ おもいきり学ぶ          私たちは、「やさしく・つよく生き抜く力」を育みます</p> <p>[保育目標] すくすく育つ / 健全な心と健康な身体          わくわく遊ぶ / 積極的に学ぶ好奇心 豊かな創造力と自己表現力          いきいき過ごす / 自ら考え行動する自発力 地域で育む思いやりと広い視野</p>
---

### ④ 施設・事業所の特徴的な取組

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 恵まれている自然環境の中で、四季の変化への気付きや発見、自然物を利用しての創意工夫を楽しめるように継続して遊び、豊かな感性や健康な身体作りを行っている。</li> <li>・ 地域施設の高齢者との触れ合い、小学校訪問、総合防災訓練、未就園児親子対象の子育て支援事業等を行いながら地域交流を大切にし、社会への理解や思いやる気持ちの学びを促している。</li> <li>・ リトミックを通して音楽に親しみ、創造力や自己表現力を磨くと共に、心と身体の調和を育てている。</li> <li>・ 三大アレルギー除去食「おもいきり給食」の献立導入、畑やプランターを利用して食物の種まきから収穫まで子ども達が継続的な関わりを持ち、様々な食物に触れ計画的なクッキング活動を行いながら、食の大切さ、喜び、感謝の心を育てている。</li> </ul>
--

## ⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成30年11月20日（契約日） ～ 平成31年3月27日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	回（平成 年度）

## ⑥ 総評

### ◇特に評価の高い点

#### 1. 保育の質を高める取組み

法人全体としての取組みとして、階層別研修、職員の目標管理、半期に一度の職員面談等、職員の質を高める仕組みは整備されており、又、毎年予定されている職員による事業所としての自己評価制度等、事業所として保育の質の向上への取組みが積極的に行なわれている。

#### 2. 地域との関係構築への意欲

設立されてから5年目と比較的新しいこともあり、地域との関係はまだ浅いものがある。その中でも地域との関係を深める取組みは熱心に行なわれており、隣接する公園の清掃活動への職員の参加や、子育てサークルでの育児相談、ボランティアの確保や実習生の受入れのための活動、隣接する企業との関係作り等を通して、地域との関係作りに積極的に取り組んでおり、地域における住民との関係も良好となっている。

#### 3. 食事への取組み

「おもいっきりみんなで食べられる給食」を事業所における給食方針として掲げ、季節を感じられる献立や郷土料理などが用意され、子どもたちの食育に繋がる取組みが行なわれ、保護者からも好評を得ている。

### ◇改善を求められる点

#### 1. 事業所としての独自の取組み

全国的な法人の事業所であり、規定類やマニュアル類等は整備され、これに従った取組みが行なわれているが、事業所として、地域性や環境に応じた取組みが不足している面が伺える。事業所としての運営目標、中・長期的取組み、保護者との連携、リスクマネジメント体制等、法人の制度をもとにしながらも事業所としての地域性や環境に応じた取組みを加えて行くことが望まれる。

#### 2. 事業所課題の明確化と具体的取組み

現在行なわれつつあるが、事業所としての中・長期的取組みは明確となっておらず、又、単年度における目標も具体的な指標とはなっていない。事業所としての現状における課題を明確にし、職員と課題を共有し、中・長期的及び短期的な取組みを具体的に明確化し取り組んで行くことが望まれる。

#### 3. 職員との情報共有

地域との関係作り等、事業所が取り組んでいる内容に関して、十分に職員には周知されていない面が、自己評価からは伺える。事業所としての課題や目標、取組み等に関して、職員との情報の共有を更に進めて行く取組みが望まれる。

### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

- ・保育の質を高める取り組み、地域との関係構築、食事への取り組み等、計画的に進んでいる内容においては今後も継続した取り組みを行い、職員間の意識格差を無くすべく情報共有を深め、更なる向上を図りたい。
- ・課題として、自園独自の中・長期的な見通しを持つ具体的な計画を作成し、地域や環境に応じた課題・目標・取り組みを明確にしながら進めていく必要がある。企業組織として大切にすべき点と、自園独自のカラーを大切に出していく点をバランス良く構築していきたい。又、保護者や地域への発信力を高めながら風通しの良い関係作りに努め、円滑な運営や選ばれる園作りに取り組んでいきたい。

### ⑧第三者評価結果 別紙のとおり

## 第三者評価結果〔保育所〕

### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a (b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人としての保育理念、保育目標は確立され、パンフレット、入園案内兼重要事項説明書に記載され、保護者には入園時に、又、職員には事業計画書に記載し、職員会議において周知が図られている。事業所としての地域環境や事業所の特性等を考慮した目標を設定し、利用者や職員に周知して行くこと、及び、事業所のホームページ等にも記載し、より理解を深める取組みをして行くことが望まれる。</p>		

#### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	(a) b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>山形市における定期的な連絡会議、山形県からのメール等による情報、又、法人支部や本部からの情報により、地域の状況や全国的な動向に関しての知識を得ている。</p>		
③	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a (b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事業所に関連した課題に関しては、月1回行なわれる職員会議で話し合われ、又、期初における会議においても、年度の取り組み課題に関しての話が行なわれている。職員の自己評価からは、課題認識に関しての職員間でのバラツキも伺え、更に課題認識を周知させて行くことも望まれる。</p>		

#### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
④	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a (b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人における中・長期経営計画は2019年から2025年に向けた計画が策定されている。しかし、事業所としての中・長期目標の設定は行なわれていない。理念や保育目標を達成するための、地域特性等を考慮した、事業所としての課題を明確にし、中・長期における計画を策定し活動して行くことが望まれる。</p>		

5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事業計画は策定され、年度における目標等が明確化されている。中・長期的な目標設定とともに、より具体的な年度の目標設定を行なって行くことが望まれる。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>前年における反省は職員会議等で話し合われ、これをもとに、翌年度の事業計画が策定されている。更に、事業計画書における目標は抽象的であり、より具体的にしていける事が望まれる。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>入園案内兼重要事項説明書等をもとに、保護者会や運営委員会などで保護者に対し説明が行なわれている。説明されている内容は行事計画や事業所からの連絡事項が主となっており、事業所としての年度における取組み等についても、事業計画書をもとに説明して行くことも望まれる。</p>		

#### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>昨年度より、事業所としての保育の質の向上を目的とした取組みの一環として、職員による自己評価が行われ、これをもとにした、事業所全体での保育の質の確認、課題の抽出が行なわれるようになってきている。又、法人としても5年に一回第三者評価を受審する事が定められており、質の向上に関しての積極性が伺える。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>自己評価をもとにした、課題の抽出や、改善のための取組みに関しては、まだ十分な分析や活動には結びついていない面がある。更に、来年度以降も自己評価等を継続し、職員との話し合い等を通じて保育の質の改善につなげて行くことが期待される。</p>		

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職務分掌、事業所内の組織図などが作成され、又、非常時における役割も明確化されている。毎月の園だよりには施設長の言葉が記載され、施設長としての取組みが表明されている。より具体的に、事業所および施設長としての方針等を、保護者及び職員に対し発信して行くことが望まれる。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人本部等における定期的な研修や、年2回でのチェックシートによる確認が行なわれ、特に個人情報保護に関しての取組みは積極的に行なわれている。更に、個人情報以外の、園として関連する法令等に関しての整理を行い、職員に周知して行くことが望まれる。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員による保育の質の評価、職員会議での話し合い、年二回の個人面談における、課題の話し合いなどが行なわれ、又、法人での階層別研修が行われる等、保育の質の改善に対する組織的取組みは積極的に行なわれている。更に、事業所としての課題を明確にし、具体的な改善計画を示して行くことなどにより、質の向上を図って行くことも望まれる。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>施設長は業務の実効性を高めるため、職員個々の都合等を考慮した人員配置や、業務上の役割分担を明確化している。職員会議で業務の遂行に関しての話し合いも行なわれている。更に、職員が主体的に業務の改善に取り組む意識付けや仕組み等が望まれる。</p>		

### Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	(a) b c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>毎年、利用者の受け入れが判明した時点において、法人支社と調整を行い、必要とされる、人材の配置案を策定し、人材の確保を行なっている。不足人員に関しては、法人にて募集を行い、法人内の他園との調整が行なわれている。現状、人材確保の難しさもあり、新卒の採用は無い。</p>		

15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a (b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人の方針に保育士としての心得が記載され、期待される職員像が掲げられている。年二回の人事考課時において、職員との個別面談が行なわれ、職員から提出される目標シートをもとに、話し合いやアドバイスが行なわれている。人事考課は法人の規定に従い行なわれ、結果は賞与に反映される仕組みとなっている。面談時に当面の目標以外に、より将来的な目標に関しての話し合いや、人事考課の結果に関してのフィードバック等についても検討して行くことが望まれる。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	(a) b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事務スタッフが日常管理し、必要に応じて施設長への報告が行なわれている。職員間における業務の偏りが出ないよう、調整が行なわれている。福利厚生に関しては、法人の制度に従って行なわれており、共済組合が組織され、レジャー施設などの優待が受けられる仕組みとなっている。メンタル面に関しては、法人の対応部門があり、職員から直接相談を受け、必要に応じて産業医等の紹介が行なわれている。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	(a) b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>毎年期初に目標管理シートによる、職員の年度における取り組み目標が提出され、年2回の面談時に、目標の進捗状況の確認や、アドバイス等が行なわれ、必要に応じて見直しが行なわれている。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	(a) b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人において、研修マニュアルが作成され、階層別に必要とされるスキルが明記されている。これに基づき、研修計画が策定され、支社単位での研修が実施されている。園においても、年間の研修計画が策定され、これに基づく研修が実施されている。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a (b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人にて行なわれる、階層別研修にはそれぞれの経験等に応じて全職員が受講することとなっている。又、個人別研修予定及び実績管理がなされている。園内における研修は、期初に職員のアンケートにより、研修課題が設定され年度の計画が作られている。外部研修は全職員に、案内され、職員の希望及管理者による指示により受講されている。更に、園における課題を明確にし、それに沿った研修を実施して行くことが期待される。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a (b)・c

<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>実習生の受け入れ体制、及び、受入れマニュアル等は整備されているが、本格的な保育実習までには至っていない。現状では高校生によるインターンシップ、歯科専門学校の見学実習が行なわれるようにはなっているが、更に、継続的に学校への働きかけを行い、保育実習生を受入れて行くことが望まれる。</p>
---

## II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人としての決算情報等はホームページにて公表され、事業所としての概要も公開されている。事業所の第三者委員となっている地域の民生委員へは広報誌の配布を行うと同時に、地域における情報交換を行なっている。苦情相談についてはマニュアルが整備され、必要に応じて公表が行なわれる体制となっている。地域への広報活動に関してはより積極的に行なっていく取組みも期待される。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事業所の運営等に関しては、法人のルールに従って行なわれ、法人からは年に1回監査が行なわれている。</p>		

## II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事業所で行われる夏祭りには、未就園児童を招待し、又、地域の高齢者施設へ訪問し園児による唄や、踊りを通じた交流が行なわれている。又、隣接する公園には頻回に出かけ、訪れている地域の方々との交流も行なわれている。1年に4回ほど行なわれる地域の公園清掃には事業所の職員も参加し地域との交流が図られている。事業所内には地域の避難場所を明示した地図が掲載されているが、より見やすくすると同時に地域における社会資源等も併せて記載して行くことも望まれる。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ボランティア受入れマニュアルは整備されており、受入れのため地域の学校への働きかけを行なっており、昨年度二名の高校生の受入れに結びついた。更に、学校以外も含め、今後とも継続的に受入れのための活動を行ない、ボランティアを通じた地域交流を行なっていくことも期待される。</p>		

Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>日常、山形市子ども保育課とは定期的な連携が行なわれ、又、必要に応じて児童相談所、保健センター、警察、消防署との連携が行なわれている。</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a・Ⓑ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>民生委員を通じ、地域における子育てサークルを訪問し、必要に応じて育児相談を行っている。更に、地域の児童への施設の開放や、災害時の連携等、より積極的な地域への支援活動を検討し実施して行くことが望まれる。</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・Ⓑ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>地域の民生委員との定期的な情報交換が行われているが、更に、地区における自治会やその他団体との交流を積極的に行い、地域の福祉ニーズを把握し、活動して行くことが期待される。</p>		

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>パンフレット、重要事項説明書に理念、基本方針が記載され年度初めに保護者に説明されている。職員には入所時の研修等で基本姿勢や保育士としての姿勢等が周知されている。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a・Ⓑ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>生活にふさわしい快適な環境の為に規程、マニュアルが整備されている、保育の場面毎の規定、マニュアル等は各職員に配布されているが、定期的に周知、確認して行くことが望まれる。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ホームページの作成、法人のパンフレット等は行政機関、公共施設に置き情報を提供している。見学希望者にはパンフレットを基に案内し説明している。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>入園説明会には重要事項説明書を基に説明して書面で同意を頂いている。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>継続時にも安心感を持ってもらえるように、全国のニチイキッズ保育園の環境の情報が提供されている。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・Ⓑ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保護者会(5,2月)で保護者の意見、要望等を聞き分析、検討して取り組んでいる。又、行事に対してはアンケートを実施して次回の行事に活かしている。年2回保護者代表と事業所で良質な保育を提供する為に意見を交換している。保護者を対象に定期的な調査を行なっているが、結果を分析し、会議等で課題点等を検討して行くことが望まれる。</p>		

Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>苦情解決のマニュアルが作成され、保護者には重要事項説明書に記載し説明して周知している。意見箱は設置しているが、より活用されやすい環境作りを検討して行くことも望まれる。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>相談室は設置され玄関には苦情対応マニュアル等が掲示されている。苦情と相談窓口が同一に記載されている。苦情と相談が混同されないように掲示し、保護者が相談しやすくするような取組みが望まれる。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>アンケートや家族からの意見に関して、会議等で対応を検討しているが、結果に関しての保護者へのフィードバックが十分に行なわれていない面が伺える。マニュアル等を含め見直して行くことが望まれる。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a (b) c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもの安全確保に関し、危機管理マニュアルが作成され、避難訓練、防災訓練等が計画的に行われている。毎月クラス毎にヒヤリハット事項を提出しミーティングで要因の分析、対策等が職員間で話し合われている。安全に対する取組み体制は本部主導で作成されており、事業所として委員会等を整備し検討を加えて行くことが望まれる。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	(a) b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>看護師が配置されている。感染症予防、衛生管理マニュアルが作成され、事業所内研修で感染症の予防や安全確保に関して職員間での情報の共有が図られている。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	(a) b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>避難訓練、防犯訓練等は年間計画が作成されている。地域の防災訓練には職員も参加している。備蓄物資管理マニュアル、保育業務マニュアル、緊急時のフローチャート等を整備し実施している。</p>		

## Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>標準的な実施方法は保育業務マニュアル、重要事項説明書に記載され、日々の業務に使用されている。更に、職員に保育業務マニュアルが周知されているかを確認する仕組みも望まれる。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>標準的な実施方法(文書)の改訂記録、検討会議の記録が記載されているが職員や保護者等の意見や提案が反映されるような仕組みが望まれる。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>児童票を基に成長課題等を明確にしており、「全体的な計画」を基に指導計画書の策定、実施のプロセス、責任及び役割分担体制が作られている。各クラスの担当職員がアセスメントや保護者との話し合いをもとに、子どもの心身の発達に即して策定している。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>指導計画は目標、具体的な保育支援、解決方法の検証等、定期的に見直しが行なわれ、保護者の意見も反映されているが、更に、変更に関して保護者の同意を得ていることの記載が望まれる。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人が定めた月間計画書、個別月間指導計画、週日案、保育日誌、発達記録の帳票に記録されている。書き方の統一は施設長、主任がチェックして指導している。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人の記録管理規程を基に保管、保存、破棄、情報提供に関する規程が作成されている。職員にはマニュアル、コンプライアンス個人情報トレーニング、自己振り返りチェックシートを使用して周知している。</p>		

# 保育所版内容評価基準ガイドライン

## 評価対象 A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 保育課程の編成		
A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「全体的な計画」は法人本部で作成し、事業所の保育に関わる職員に周知、実施されている。</p>		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>室内の温度、換気、採光、音はつねに適切な状態に保持している。衛生管理の面より寝具は事業所で用意している。整理整頓は子どもの安全に十分気をつけている、以上児クラスにおいてもひとりで寛ぎたい時に落ち着ける場の検討が望まれる。</p>		
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>指導計画には一人ひとりの子どもを受容するために援助内容が記載されている。観察記録は気になる場面や対応について、更に、場面において、保育士がどのように配慮・留意したかといった面での記載も望まれる。</p>		
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>「全体的な計画」や年間計画で生活習慣を身につけることができるように、一人ひとりの子どもの家庭環境に配慮した環境整備と援助の取組を行っている。</p>		
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもが主体的に生活と遊びができるための工夫、特に延長保育、異年齢保育においては保育室の環境の見直し、工夫が望まれる。</p>		
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>適切な環境の整備として、配慮すべき対応は15分ミーティングで情報を共有している。保護者に対しては発達過程に応じて連絡帳で連携している。</p>		

A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>個別の指導計画には養護と教育の一体的な取組は明確に記載され実践されている。状況が記録されて送迎時、連絡帳で保護者と連携している。</p>		
A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>基本的な生活習慣を身につけ言葉による豊かな自己主張で友達との関係を深めている。友達と意欲的に活動できるように配慮されている</p>		
A⑨	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>現状は障がい認定児はいない。障がい児受け入れの際には、外部研修、内部研修で知識や対応方法等を研鑽し職員間の情報の共有をして行くことが望まれる。</p>		
A⑩	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>標準時間は7時～18時で月曜から土曜で短時間保育として8:30～16:30、延長時間は18:00に補食が設定されている。保育士間の引継ぎを密にし、保護者との連携をしている。</p>		
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子育て支援マニュアルに記載しており、指導計画では第一期(4,5月)は幼保小の連携の話し合いに参加し、定期的に小学校と連携活動できるように計画し、二期(6,7月)には小学校との連携を具体的に始め、保護者に伝え、三期(9,12月)には地域の小学校の訪問計画を進め、四期(1,3月)に小学校訪問の実施、及び保育所児童要録を記入し小学校に送付している。</p>		
<p>A-1-(3) 健康管理</p>		
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>年間保健計画を作成し、子どもの生命と心の安定が保たれ、健やかな生活を確立することを目標に四期に区分して、ねらい、内容、環境構成、配慮、行事(保健)、子育て支援(保護者)を通して健康管理が行われている。</p>		
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>毎月保健便りを保護者に配布している。毎月の身体測定の結果を報告、歯科検診、内科検診、尿検査の結果を伝えている。子ども達には手洗いや歯磨き等の大切さを指導して行くなど、保育に反映している。</p>		

A14	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、 医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>食物アレルギーマニュアル・危機管理マニュアルが作成されている。「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」に沿って担当医師と連携して対応している。</p>		
A-1-(4) 食事		
A15	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>年間食育計画が作成され3大アレルギー除去の‘おもいっきり給食’を計画実施している。年間を通して行事食、郷土料理等も献立に組み込まれている。</p>		
A16	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>3大アレルギー除去食の実施、給食衛生マニュアル、食物アレルギーマニュアル、離乳食の進め方と作り方のマニュアル、調乳マニュアル等が整備され、衛生管理体制を強化し安心して食べられる環境を提供している。尚、食育に関する取組みとして、昼食を玄関に提示している。又、保護者対象給食会、試食会やアンケート調査等を行い、家庭と連携している。</p>		

## 評価対象 A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A17	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>日々の子どもの体調や様子を連絡ノートに記載し連携している。年1、2回の保護者会、又、年2回の運営委員会を開催し保護者代表と話し合いを行い、保育の質を高める取組みを行なっている。</p>		
A-2-(2) 保護者等の支援		
A18	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保護者支援の取組み、相談対応の体制は整備されている。更に、事業所側から保護者に、より積極的に声掛け等の働きかけを行い、保護者とのコミュニケーションを深めて行く取組みが望まれる。</p>		
A19	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>虐待防止マニュアルを基に職員に対しての研修等を行っている。玄関に虐待防止のポスターは掲示してあるが、目につきやすく効果的な掲示を配慮するなど、保護者に対しての働きかけも積極的に行なっていくことが望まれる。</p>		

### 評価対象 A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
A20	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>自己評価を行うことなどにより保育実践の振り返りを行い、又、定期的に目標管理シートを活用し保育の質の向上に努めている。</p>		